

支部だより

令和5年1月
第94号

会員の親睦が活動の原動力です

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻に対する経済制裁から始まった資源、エネルギーの供給不安、その後の急激な円安や生活必需品の値上げなど、海外情勢の変化に振り回された1年でした。一方、新型コロナウイルス対策は、秋の行動制限解除以降、インバウンドが解禁されるなど、わずかずつですが明るい兆しが見えてきました。

また、ワールドカップでは、各国サポーターがマスク無しで大騒ぎしている様子を見て、世界的には以前の生活を取り戻した感があります。ドイツ、スペインに勝った侍ジャパンの諦めないプレーには日本中が勇気づけられたと思います。

私たちに解決しなければならない課題がもう一つあります。世界共通の社会課題である気候変動問題への取り組みです。2050年カーボンニュートラル達成に向けて国の目標も低炭素社会から脱炭素社会の実現に引き上げられています。身近なところでは、木材資源の利用拡大、一次エネルギー消費量計算や外皮計算の義務化などが進んでいます。

さて、今年の支部活動ですが本来のあるべき姿に回復させたいと思います。まずは新年の寿ぎとこの3年間に新しく会員となった方々との交歓を図る恒例のボーリング大会・新年会を復活します。そして、4月には多くの支部会員が出席する支部総会を開催します。当たり前のことですが、これを大切にしたいと思います。会員の親睦が活動の原動力です。

次のステージへそれぞれが自らの職能を高め、周りの状況に目を向け、耳を傾け、地域社会と共に良い方向へ向かっていけるようみんなで頑張りましょう。今年は卯年、ピョンピョンと足取り軽やかに、いろんなことに挑戦し、飛躍の一年にしてゆきたいと思います。

本年も役員一同、心をひとつにして努力してまいります。皆様のご支援を引き続き、よろしくお願いいたします。

最後に、ロシアのウクライナ侵攻はもうすぐ1年を迎えようとしています。戦いは激しく和平の糸口も見えません。市民は寒さと暗闇の中、塗炭の苦しみに耐えています。平穏な日々が一日も早く訪れることを祈念してやみません。

(加古川支部 支部長 小西 敏文)

「新年会&新春ボーリング大会」のお知らせ

毎年恒例であった『新年会・ボーリング大会』を2月4日(土)に執り行います。

支部会員の交流と親睦を深める行事であります。

新しい年を迎え気持ち新たに加古川支部創立60周年に向け一致団結をしたいと思います。

ここ数年で新入会員も増え、より一層加古川支部を盛り上げたいと思います。

皆様方におかれましてはお忙しい事と存じますが、ボーリング大会・新年会共に豪華景品を取り揃えますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

奮ってご参加くださいますようにご案内します。

(厚生委員会)

日時：令和5年2月4日(土)

17:00より 受付

17:30 ゲーム開始

19:00 新年会開宴

宴会余興 ビンゴゲーム

豪華景品多数

会場：「ニッケパークボウル」

加古川市加古川町寺家町 269-1

Tel (079) 427-8900

新年会：「膳屋加古川総本店」カノコビル 3F

加古川市加古川町篠原町 14-6

Tel (079) 424-2698

膳屋提携駐車場

(2時間無料)

右記QRコードで

提携内容や場所を

ご確認ください。



参加費：新春ボーリング大会 1,000円

新年会 4,500円

(令和2~4年度新入会員は無料招待です)

申込み期限 令和5年1月20日(金)

申込み方法 4面よりお申込みください。

当日連絡先 竹下 孝行 090-7113-1380

永田 康貴 080-3764-4179

2022年10月29日 旧加古川図書館 見学会実施のご報告

旧加古川図書館は1935年(S10)に加古川町公会堂として建築され、1974年(S49)から図書館として使われてきました。周辺には加古川町役場(1926)、加古川小学校(1928)、キリスト教

会堂(ヴォーリス設計)が建ち並んでいましたが、今では旧加古川図書館のみとなり、近代に発展した加古川を示す数少ない近代化遺産となりました。しかし旧の名の通り図書館としての役割を終え、存続について岐路にあります。そのような中、9月13日の支部理事会で古田充さんより地元支部として見学会を実施したいとの発案があり、企画することになりました。



図書館担当者と実施に向けての打合せを進めつつ、一般社団法人日本建築学会近畿支部近代建築部会とNPO法人ヘリテージはりまが2021年11月23日に実施したシンポジウム「旧加古川図書館の保存活用を考える」の流れに乗る形で、これらと共催することになりました。

見学会は2022年10月29日(土)9:30からと11:30からの2回に分けて実施し、それぞれ約1時間半、一般参加者・スタッフ・図書館職員など合わせてそれぞれ30名程の参加がありました。

京都工芸繊維大学の笠原一人先生の解説とともに、参加者の足立裕司神戸大学名誉教授、石田潤一郎京都工芸繊維大学名誉教授からも、建築当時の時代背景や建築デザインの潮流や技法、設計者の置塩章についてなど学術的にも貴重なお話を聞くことができました。

ちなみに置塩章は帝大卒、陸軍省や兵庫県庁で多くの官庁建築に携わり、その後独立し、設計事務所を開設して、全国で活躍されました。兵庫県徽章も彼のデザインで、神戸大学の講師、兵庫県文化財審議会委員、兵庫県建築士会の初代会長でもあり、我々にも関わり深い人物です。

デザインは、ゴシック様式やロマネスク様式が混在し、当時はやりの幾何学的アールデコでまとめた様式主義の建築、材料にはスクラッチタイルや人造大理石などの新しい材料、RCと鉄骨の混在する構造、柱頭飾りやステンドグラス、階段手摺や門柱など、詳細に見れば見るほど完成度の高い建築であることを再確認しました。

また図書館になって張られた2階天井も一部が剥がされ、天井裏が見えるようになっていて、公会堂時代の広い講堂を感じながら、楽しそうに覗いていました。

ホール屋上ではシンボルでもある正面尖塔を近くから見ることもでき、図書館の魅力を改めて知る上で有意義な見学会となりました。加古川支部としても、この建物の保存再生に一助を担う必要があるのではと改めて感じた見学会でした。

(尾瀬 耕司)



旧加古川図書館【元加古川町公会堂】

現地見学会に参加して

令和4年10月29日(土)に旧加古川図書館見学会に参加しました。

旧公会堂は昭和2年に焼失したため、東播磨平野の中心地として新公会堂の要望が高まる中、昭和7年に再建が決定し、置塩章氏の設計により建設されました。昭和49年には市立図書館に改修され現在に至っています。

今回の見学会は日本建築学会近畿支部近代建築部会の笠原主査(京都工芸繊維大学助教)をお迎えし、建物の説明を頂きました。

また京都工芸繊維大学の石田純一郎氏よりコメントを頂き、氏は安井武夫氏と同級で昭和43年に建築学会を設立し、いかに近代建築を活用するか、将来の建築を展望してきました。また全国で4人の指に入る神戸大学の足立名誉教授にもご参加頂き貴重な建造物と認知されました。

置塩章氏は県営繕課で力を発揮され以後も全国で活躍されております。代表作として、尼崎警察署・神戸移住センター・茨木県庁舎・宮崎県庁舎があります。

日本建築学会近畿支部近代建築部会として、2015年に今回の物件を加古川市の岡田市長宛に保存要望書を提出しております。

15-6世紀のルネサンス調・アリオス式・ステンドグラスの縦長のアーチ、ロマネスク様式、11-2世紀ごろの軒先デザイン・塔屋にも尖ったゴシック様式は、パリのノートルダム寺院にも見られ、梁端部のシグザグ模様は新しいモダン派、巧みにまとめあげたデザインが基調なデザインとなっている。2階のホールは、図書館として小部屋へ改修されており、当時の全容は拝見出来ないが、今回一部天井部材が撤去されていたため、当時の勇壮観を垣間見ることが出来、今後の展開で

の期待に力が入りました。

1920年代のアルデコ調を取入れ建物の持つやさしさ、町に寄り添う創成があり重厚感を持ちながら、穏やかな全影。人間的であり迫力を持つ、親しみやすい置塩章氏の世界観です。

そしてひょうごヘリテージ機構H20の沢田氏にも参加頂きました。置塩氏の愛弟子でもあり、もと県営繕課でも活躍され、「この物件への可能性。立地良さから、この度の見学会を契機に皆様のお力をお借りし保存・有効活用を考えて参りましょう。」との言葉に決意を強くしました。

東播磨地域の今後の発展に向け、重要な拠点のシンボルとして、豊かな町、近代化の建物・歴史を立証し、今後の保存・有効活用を考えて参りましょう。

【参 考】 設計者；置塩建築事務所

- ・竣工年；昭和10年（1935年）
- ・階数；2階
- ・構造；RC造 延床面積；1220.1㎡
- ・所在地；加古川市加古川町木村226-1
(副支部長 坂上 浩司)

令和4年度 加古川支部 温熱環境体感施設と中之島美術館見学会 実施報告

令和4年度の研修委員会活動として、令和4年11月19日大阪見学会を企画しました。

参加者は12名、加古川駅北駐車場近くに午前8時集合出発しました。道中、高速道路も順調に流れ遅れることなく、大阪LIXILショールーム南港に10時前に到着しました。

12名の参加者は3グループに分かれ、案内担当のLIXILスタッフについていき「すまいスタジオ」という温熱環境体感施設とユニバーサルデザインの内装建具や建材のフロア、キッチンなどの住環境設備のフロア、ミカ所をグループごとにローテーションしながら見学しました。

温熱環境体感施設では 大きな冷蔵庫の中（気温0度）に昭和55年ころの断熱仕様の部屋と、同レベルの部屋を現在の断熱等級6相当にリフォームした部屋を比較体感しました。

前者は部屋の各所に温度ムラがあったが、後者の方は温度ムラが4度以下となり大変こちよい空間となっていました。どちらもエアコンの設定温度は20度にしてあるが、これほどの違いがあるのかと再認識させられました。

温度ムラが人間の体にも不調を与えるリスクも説明を受け、住宅の断熱が大事であると感じました。

高齢者や障がい者向けにユニバーサルデザインの引き戸や折戸など見学し、車いす利用者や四肢麻痺などの方に使いやすいような建材をみて、ここまで開発が進んでいるのかと感心いたしました。最新の住宅設備機器をみて使いやすさや清掃の

しやすさなどにも目を丸くしながら南港を後にしました。



大阪LIXIL ショールーム南港

次は中之島へ移動、2022年2月にオープンした大阪中之島美術館を見学しました。

メインの展示は 舞台は1891～1900年のパリで モンマルトルに身をおき、華やかな夜の文化とその舞台裏とを見つめ描いたアンリ・ド・トゥールーズ=ロートレックと、優美な女性像で一世を風靡した「アール・ヌーヴォーの旗手」アルフォンス・ミュシャ。ともに「ベル・エポック」期のパリでポスター画家としてデビューし、ポスターそのものの地位を「芸術」へと引き上げたといわれ、その時代に描かれたものを数多く展示されていました。

この美術館は建築としてもまた魅力的です。まっ黒な外壁はひときわ目を引き、さまざまな建物が並ぶ中之島でも、圧倒的な存在感を放っています。建物の特徴は、黒いプレキャストコンクリートパネルに囲まれた箱形の外観と、内部を立体的にくりぬいた「パッサージュ」（遊歩空間）です。

例年研修委員会では年1回ではありますが楽しんで頂ける企画を行っております。次はぜひ若い会員や新会員はもちろんのこと、たくさんの会員に参加していただけるよう努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願い致します。

ご参加の方は大変お疲れ様でした。

(研修委員会副委員長 林 知宏)



中之島美術館

令和4年11月5日・6日の第19回 商工祭 カコガワラクイチに今年も例年通り金魚すくいとヨーヨー釣り、活動事業のパネル展示で参加しました。

去年同様、日岡山公園で開催されました。天候もなんとか恵まれ、11月としては暖かく無事多くのお客様に来て楽しんで頂くことができたと思います。

今年は新たに初めてメダカの販売も行いました。金魚は少々飼育が難しいので、メダカか金魚を選んで頂く形でさせて頂きました。はじめの試みでしたが、金魚は持ち帰れない方や、直接メダカが欲しいと思われる方も結構おられてかなり好調でした。

今年も前日の準備から、本番まで多くの青年部の人やOBの方々、そのご家族の人にお手伝い頂き楽しく活動することが出来たと思います。売上の方も、大体例年の売り上げがあり、なにより大きな問題や、ケガ等もなく活動出来て良かったと思います。

ふだんあまり参加出来ない方とのいい交流の場となると思うので良い成果だったと思います。

(青年部 太秦 篤史)

大人になるとあっという間に1年が早いと感じるのは、何故か？「トキメキがなくなったから。19才を超えると時間が早く過ぎるように感じる」NHK チコちゃんに叱られる！で言っていました。「大人もトキメキを感じることを生活に取り入れればいい。例えば、子どもと一緒に行動することでトキメキを取り戻せるかも」って。

12月25日童心に返って、サンタさんになりきった人・赤い帽子だけ被った人(私)達で、クリスマスごみ拾いを高砂・加古川で行いました。
(高橋 賢吉)

編集後記

支部での活動が活発化してくると紙面が足らなくなる嬉しさを味わっています。

新年の挨拶で、支部長が「会員の親睦が活動の原動力です」と書かれています。親睦を深めながら、私たちに与えられた課題についても語り合いより良い社会を創る一助になれば良いなあと想います。だから、『新年会・新春ボーリング大会』に、新型コロナウイルス対策を講じながらも多くの方が参加して下さることを願っています。

皆様、毎日トキメいていますか？支部の事業に参加して、今年も一年トキメきましょう。

(広報委員会 委員長 高橋 賢吉)

連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。(郵便も可)

※住所・連絡先等の変更は必ずお知らせください。(個人情報保護法に基づき管理致します)

事業名	参加 参加される場合は○印を	参加者氏名	緊急連絡先
新春 ボーリング大会		氏名	電話
新年会			
連絡表			

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部

事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350

支部長 小西 敏文 直通 TEL：090-7889-2626

E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2019@gmail.com

